著　者　紹　介

天野　富夫（正会員）
1984年慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了．日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所に入所．文字認識，文書画像処理の研究開発を行う．2000年より同社サービス事業部に異動，WebアプリケーションやXML関連の開発，システムインテグレーションに従事．XMLコンソーシアム　エバンジェリスト．

稲田　修一
1979年郵政省入省．以来，電気通信制度改革，標準化，移動通信，電子政府，情報セキュリティ，研究開発等の政策策定に従事．2004年1月から総務省総合通信基盤局電波部電波政策課長．電子情報通信学会．

井上　真杉
情報通信研究機構モバイルネットワークグループ主任研究員．1992年京都大学・工・電気工学第二学科卒業．1997年東京大学・工・電子工学専攻・博士課程修了．工学博士．同年より郵政省通信総合研究所（現：情報通信研究機構）勤務．2000～01年米国ニューヨーク・ポリテクニック大学客員研究員．超高速無線LAN，モバイルネットワークの研究に従事．
E-mail:inoue@nict.go.jp

岩崎　英哉（正会員）
1960年生．1983年東京大学工学部計数工学科卒業．1988年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了．東京大学計数工学科．同大教育用計算機センター助教授．東京農工大学工学部電子情報工学科，東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻，電気通信大学情報工学科助教授を経て，2004年から電気通信大学情報工学科教授．工学博士．

大澤　智喜
昭和58年日本大学生産工学部卒業．同年，日本電気（株）に入社．以来，無線LAN，モバイルコンピューティングの要素技術の研究，事業立ち上げを行う．1997年よりIEEE802.11aの標準化，国内MMACにて日本の11a標準化の主任を務める．2001年よりアセロス・コミュニケーションズの日本法人を立ち上げ，IEEE802.11に準拠した製品の日本普及に貢献．工学博士．

大平　健司（学生会員）
平成14年京都大学・理卒業．平成16年同大学院情報学研究科修士課程修了．現在同博士後期課程在学中．マルチホーミング環境におけるルーティングプロトコルの研究に従事．IEEE学生会員．

岡部　寿男（正会員）
1988年京都大学大学院工学研究科修士課程修了．同大助手，助教授を経て，現在同大学術情報メディアセンター教授．博士（工学）．電子情報通信学会，システム制御情報学会，日本ソフトウェア科学会，IEEE，ACM，EATCS各会員．

岡村　耕二（正会員）
九州大学大学院修士課程修了後，三菱電機（株），奈良先端科学技術大学院大学，神戸大学総合情報処理センターを経て，現在九州大学情報基盤センター助教授．九州大学のキャンパスネットワークに関してその運用および将来設計，情報セキュリティ対策，ネットワーク上での情報倫理の学内への啓蒙活動などの仕事に従事している．博士（工学）．
E-mail:oka@ec.kyushu-u.ac.jp

古村　隆明（正会員）
2001年京都大学大学院情報学研究科博士課程修了．同年（財）京都高度技術研究所入所．ISPの運用に従事．誤り訂正符号等を用いた映像ストリームのマルチキャスト配送に興味を持つ．

重安　哲也（正会員）
平成14年山口大学大学院理工学研究科博士前期課程修了．同年広島国際大学社会環境科学部情報通信学科助手．無線環境下，特にある特定の基地局に依存しないネットワーク環境下における媒体通信制御プロトコルの改良ならびに，特性評価に関する研究に従事．電子情報通信学会会員．

田中　哲朗（正会員）
1965年生．1987年東京大学工学部計数工学科卒業．1992年同大学院博士課程修了．博士（工学）．東京大学工学部助手，同大教育用計算機センター助教授を経て，1999年より同大情報基盤センター助教授．

寺田　　実（正会員）
1981年東京大学工学部計数工学科卒業．同大助手，電気通信大学助手，東京大学助教授を経て，2002年より電気通信大学情報通信工学科助教授．工学博士．プログラミング，対話的システムに興味を持つ．

所　　洋一（正会員）
1988年早稲田大学理工学研究科修士課程修了．同年NHKに入局．富山放送局，放送技術局，マルチメディア局を経て，現在，放送技術局放送運行部チーフエンジニア．データ放送コンテンツの制作，送出業務に従事．

二宮　　恵（正会員）
1999年東京女子大学文理学部数理学科卒業．2001年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了．同年（株）アイアイジェイメディアコミュニケーションズ入社．

長谷川孝明（正会員）
1981年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業．1986年同大学院博士課程修了．工学博士．同年，埼玉大学工学部助手．1991年同助教授，現在に至る．1995～96年カナダ・ビクトリア大学客員研究員．現在の専門はITベースのITS．特にシステム創成論，アーキテクチャ，プラットフォーム，ITSの要素技術としての情報通信，ポジショニング，HMIが中心．電子情報通信学会ITS研究専門委員会委員長，元スペクトル拡散研究専門委員会委員長．次世代空港システム技術研究組合技術委員会委員長，運営委員会委員，顧問．NPO高度測位社会基盤フォーラム副代表理事．IEEE，国際交通安全学会，情報理論とその応用学会各会員．

長谷川幹雄
情報通信研究機構モバイルネットワークグループ研究員．平成7年東京理科大学・基礎工・電子応用工卒業．平成12年同博士課程修了．博士（工学）．平成9～12年日本学術振興会特別研究員（DC1）．平成12年郵政省通信総合研究所入所（現：情報通信研究機構）．ユビキタスネットワーキングに関連する研究に従事．
E-mail:mikio@nict.go.jp

ひろのかずお
1963年大阪外国語大学仏語科卒業．大阪市立大学・慶應義塾大学に学ぶ．日本ユニバック（現日本ユニシス）・CSK・情報技術開発（TDI）を経たが，この間，人工知能・認知科学・インターネット分野で広範囲に活動．現在，（株）プロファイル，イー・カルチャー（株）の顧問，NPOデジタル情報産業振興会（ADI2）理事，NPO・CEO企画担当．

藤川　賢治（正会員）
1995年京都大学大学院工学研究科修士課程修了．現在同大情報学研究科助手．博士（情報学）．インターネット上でのQoS保証，マルチキャスト，モビリティに興味を持つ．

牧野　友紀
1990年日本ユニシス（株）入社．メインフレーム利用技術の開発・提供，異機種システム間メッセージング・ミドルウェア製品の設計・開発等に従事し，現在，SOA適用コンサルティングおよびWebサービス・コンサルティングを担当．XMLコンソーシアム エバンジェリスト，XMLコンソーシアム ビジネスイノベーション研究部会リーダ．

松野　浩嗣（正会員）
昭和57年山口大学・工・電子卒業．昭和59年同大学院修士課程修了．昭和59～62年山口短期大学，昭和62～平成6年大島商船高等専門学校勤務．平成7年より山口大学・理・助教授．計算機ネットワーク構築技術と生命のシステム的理解に関する研究に従事．理学博士．電子情報通信学会，IEEE各会員．

松本　吉弘（正会員）
昭和29年東京大学工学部卒業．昭和60年（株）東芝・理事，平成元年京都大学教授，（財）京都高度技術研究所所長，京都大学退官後，大阪工業大学教授，武蔵工業大学教授を歴任．発明協会発明賞，科学技術庁長官賞など各受賞．「ソフトウェア工学」（丸善，1992）など著書20点．IEEE Life Fellow．

真野　　浩
電子機器メーカ勤務の後，1988年に設計事務所経営を経て，1993年にルート（株）を設立．高速インターネットのインフラを構築する無線IPルータを開発，地域情報化や学校ネットワーク等への導入を促進．

丸山　　宏（正会員）
1983年東京工業大学情報科学専攻修士課程修了．同年日本アイ・ビー・エム（株）入社．東京基礎研究所で，人工知能，自然言語処理，マルチメディア，XML，分散処理，セキュリティなどの研究を行う．2003年より2004年4月までIBMビジネスコンサルティングサービス（株）に出向しITコンサルタントとなる．

百名　盛久
1988年東京大学卒業．1990年同大学院理学系研究科修士課程修了．1992年日本電気（株）に入社．FTTH（Fiber To The Home）やケーブルモデム，モバイルインターネットの研究開発に取り組む．2004年アセロス・コミュニケーションズに入社．IEEE802.11に準拠した製品の技術サポートを担当．IEEE，IEICE各会員．

森岡　仁志（正会員）
1993年京都大学大学院電子工学専攻修士課程修了．1995～2001年新居浜工業高等専門学校助手．1999年京都大学大学院情報学研究科研究員．2002年より（財）九州システム情報技術研究所研究員．

森川　博之（正会員）
東京大学大学院新領域創成科学研究科基盤情報学専攻助教授，情報通信研究機構モバイルネットワークグループグループリーダ．1987年東京大学工学部電子工学科卒業．1992年同大学院博士課程修了．工学博士．1997～98年コロンビア大学客員研究員．コンピュータネットワーク，ユビキタスコンピューティング，モバイルネットワークなどの研究に従事．
E-mail:mori@mlab.t.u-tokyo.ac.jp

森永　規彦
昭和43年大阪大学大学院博士課程修了．同大工学部助手，講師，助教授を経て，昭和62年同大工学部教授．平成15年大阪大学名誉教

授，広島国際大学情報通信学科教授，現在に至る．工学博士．無線通信，衛星通信，移動通信，光通信などの通信方式に関する研究，ならびに通信システムに対する干渉雑音対策技術に関する研究に従事．電子情報通信学会元副会長，元関西支部長，宇宙航空研究開発機構客員開発部員，自治体衛星通信機構評議員，総務省電気通信事業紛争処理委員会委員（委員長代理）．平成7年度電子情報通信学会論文賞，平成10年度同業績賞，平成16年度同功績賞，平成10年度情報化月間通産大臣表彰．IEEE Fellow．電子情報通信学会フェロー．

湯浅　敬（正会員）
1989年東京大学大学院工学系研究科卒業．工学博士．松下電器産業，日本ヒューレット・パッカードを経て，現在Hewlett-Packard Laboratoriesにてエンタープライズシステムの研究に従事．

領木　信雄
情報通信研究機構モバイルネットワークグループ専攻研究員．2004年九州工業大学大学院情報工学研究科博士後期課程修了．博士（情報工学）．同年より現職．モバイルネットワークに関連する研究に従事．E-mail:nobuo@nict.go.jp

若林　則章
松下電器産業（株）本社関西渉外室技術渉外部長．1971年松下電器入社．無線研究所，情報機器研究所，eネット事業本部等を経て現職．

おふいすらん

アテネオリンピック開催まで1カ月を切った．

今年のオリンピックは，柔道の井上康生選手や水泳の北島康介選手のメダル獲得とともに，女子柔道の谷亮子選手の五輪二連覇，女子バレーのメグ・カナの活躍に期待が高まる．

アテネオリンピック最終予選で，私たちをテレビの前に釘付けにした女子バレーは，大会2日目にイタリアとの対戦がある．アテネオリンピック最終予選初日に対戦し，波に乗って全戦全勝か?! という流れの発端になったチームとの対戦だけに，今回もぜひ勝って前回のようないい流れに乗ってほしい．

注目すべきはやはり栗原恵と大山加奈のメグ・カナペアだがベテランの吉原知子や最年少の木村沙織の活躍も見逃せない．栗原選手と木村選手に関しては，イタリア（セリエA）のビチェンツァが2人の獲得に関心を示すほどの実力の持ち主なので，本番でも持ち前のパワーを爆発させ，思いきりのいいプレーを私たちに見せてくれるものと期待している．アテネオリンピック最終予選で復活を果たし，一回りも二回りもたくましく成長したパワフル・カナのまさにパワフル・スマイルが，切れのいいスパイクとともに炸裂することも今から楽しみだ．

女子バレーは選手全員が攻守ともに高い技術を持っており，これは他のチームにはない強みなので，五輪でも私たちを熱くさせてくれることは間違いない．

GO！GO！ニッポン！！

（加藤良子／規格部門）

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部）　※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナ，プログラミング・シンポジウム
国　際	intl@ipsj.or.jp		国際会議，IFIP委員会
■ 管理部門			
総　務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJメールニュース
図　書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では，5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，5月号の特集「システムレベルデザイン」に対しまして，非常に多くのご意見やご感想をお寄せいただきました．

■設計記述の抽象度の変化を体系だって知ることができたため，「システムレベルデザインに向けて」に対して，非常に興味を持った．（亀井靖高）

■私個人の研究としてシステムレベル設計言語であるHandel-Cを使い研究を進めているため，非常に参考になった．（古市洋希）

■特集記事では，システムLSIの設計に関して，体系的な動向を分かりやすく知ることができ良かったと思います．一方で，先月号（2004年4月号）では，情報システムの大規模化がもたらすシステム障害や開発リスクの問題が取り上げられていましたが，検証技術だけでなく，LSIの大規模化・複雑化とセキュリティや安全性に関する話題も取り上げられていればさらに良かったと思います．（匿名希望）

■現在大学院でSoCについての授業をちょうど受けていて，その授業との関連を意識しつつ特集を読ませていただきました．普段はどちらかといえば上位層の話ばかり出てきてあまり下位層のことは考えていないので，たまにはこのように下位のレベルではどのようなことが行われているか知ることも大切なことだと思いました．システムレベルでの設計において，物理的な問題よりも設計生産性の方が生産全体の伸びにおいて障害となっているというのはとても意外でした．（片山聡一郎）

■今回の特集は興味深く読ませていただきました．非常に大規模なシステムを開発する必要が出てきており，その効率化のために必要な方向性を知ることができたのは，大変勉強になりました．（菅原宏之）

■現在，システムレベル設計においてCベース言語が注目を浴びているが，まだユーザにおいては敷居が高いと思われる．しかも，大手EDAベンダは動作合成ツールをいまだに開発しきれていない．このギャップは誰が埋めてくれるのだろうかと疑問に思ってきた．（松田昭信）

■普段不思議に思っていたが，「動作合成技術の動向」の記事でよく分った．（匿名希望）

■「システムレベルデザイン」および「システムレベル設計フローと設計言語」におけるUMLの占める役割は，どの程度でしょうか．また，今後の展望はいかがでしょうか．（匿名希望）

■私も少なからずHDLをかじっていて，「システムレベル設計フローと設計言語」を非常に興味深く読ませていただきました．今後はアーキテクチャ記述言語やその合成系などシステム設計の世界は激変するものと思いますが，本質的な設計の思想はかわらないでしょう．（匿名希望）

解説記事「裸眼立体視技術の最新動向」には多数のご意見やご感想をお寄せいただきました．

■このトピックについて，もともと知らなかったので，非常に読みごたえがあった．映像の出力装置のニーズの流れを考えると，はじめ，白黒からカラーに見えればよい程度の単純だったものから，よりきれいに見えるように，立体に見えるように，大画面，スペースをとらない，など多目的になってきている．その流れの中で，立体にものを見たいというのも，1つの重要な大きな目的であると思う．裸眼の方式では，映像が合わなかった人は，気分が悪くなってしまう可能性が高いので，現実的に考えると，個人個人に合わせた眼鏡など使って，目に関するインタフェースを統一した上で，共通の映像立体画像を見る方が安全に楽しめるのではないかと思う．（高島栄一）

■裸眼立体視技術は，未知分野で参考になった．（匿名希望）

■「裸眼立体視技術の最新動向」は大変興味深く読ませていただきました．（匿名希望）

■裸眼立体視の記事は面白かったが初出語に注釈がない部分もあり，読みにくかった．（横山哲也）

■裸眼立体視に関して，今回各メーカから発売されているディスプレイの詳細が説明されていたが，最近発表された日立のホログラフに言及がなかったのが残念だった．用途・目的が違うのは分かるが，ディスプレイ技術として平面上での立体視だけでなく，空間内での立体視についても触れてほしかった．（匿名希望）

コラム「インターネット生活向上委員会」には，以下のご意見やご感想をいただきました．

■Wikiで情報を共有する試みは，最近盛んになりつつあるように思います．時宜に沿った記事で，参考になりました．（水野光朗）

■Wikiは，意識せずに使っていた．ウィキペディアなど，大変参考になるページもここからきていたということを恥ずかしながら今回初めて知った．インターネットならではの仕組みと世界であるが，プラスの面がより際立つようにこれからも有効利用されていくと良いと思った．（匿名希望）

■「インターネット生活向上委員会：Wikiで情報共有」を読み，自分自身，Wikiを使用することが間々あるため，興味深く思いました．（匿名希望）

コラム「情報技術と教育」には，以下のご意見やご要望をいただきました．

■ITを活用した教育環境は，大学等の教育界のみならず，企業においても，ますます重要になってきている．そのような事例も取り上げて欲しい．（雪野　清）

■教育に関する記事は，学生の立場からも非常に関心があります．今後も教育に関した記事の掲載を期待します．（佐藤慶三）

■研究以上に教育が重要視されつつあるように思います．今後も教育に関するコラムが続けられるよう希望しています．（水野光朗）

■大学の教員であるため，情報技術と教育については，毎回参考

にさせていただいています．Web ベースで全科目をオープン化するまでの，苦労話や組織作りなどもう少し突っ込んだ話題に期待しています．コラムではなく，特集として取り上げてもらいたい話題です．（匿名希望）

その他の記事にも，多くのご意見やご感想をお寄せいただきました．

■解説「正確な学習よりも得する学習－誤分類コストを考慮する分類学習－」が大変興味深かった．数年前にある研究施設の公開のおり，「誤分類が避けられない以上，『意図したものに近い分類』を」という質問（主張）をしたことがあったが，その手法の一端を知ることができた．2，3 月号の「多重トピックテキストの確率モデル」も非常に勉強になったが，こうした基礎的な理論の解説をいつも楽しみにしている．（山崎竹視）

■解説「SQL の 20 年と現状および今後の展開」は，日常的に利用している SQL 誕生の歴史を知る上で大変に参考になりました．（匿名希望）

■解説「電子政府実現に向けての欧州の取り組み」は大変参考になりました．日本もアジア各国と協調してアジアの電子政府構築を検討すべきかもしれません．さまざまな問題やメリットがあるか疑問もありますので電子政府レベルまでは難しいかもしれませんが，共通化できるものもゼロではないと考えます．（匿名希望）

■連載「プログラム・プロムナード：トランプの 1 人遊び」：以前から思っていたことですが，こういうややマニアックなアルゴリズムものが毎月載るところが，他誌には真似のできない本誌の特徴の 1 つと考え，好ましく思っています．自分の業務とあまり関連しないだけに，息抜きとして楽しく読ませてもらっています．（匿名希望）

■連載「スマートタグ：Auto-ID ラボとその活動」：IC タグを応用した発明が数多く出願されている中，今後は IC タグの種類，特性によって用途を使い分けた，より詳細なレベルの発明が出てくると予想し，興味深く読みました．（匿名希望）

■コラム「アメリカ IT まわりの話題」：セマンティック web については，日本国内と米国での温度差が大きいということも分かり，大変参考になった．（増原英彦）

学会誌の内容や今後とりあげて欲しいテーマや関して，以下のご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にさせていただきます．

■今回は，時間があまりとれず，全ページを軽く見た上で読むということにしました．あまり読んでいないページでも引き付けられる画像があり，軽く読んでみて最近の知識を増やすことができたので，とてもありがたいです．（田中　光）

■UML2.0について，特集を組んでいただきたい．（亀井靖高）

■今回の Wiki に関する記事のような実際に役立つツールの紹介も取り上げて欲しい．（高島栄一）

■データマイニング技術を具体的に活用するためのシステムの紹介記事を希望します．（小林郁典）

■動画像関連の基盤技術と最新技術に関する特集を希望します．（田中邦明）

■IT 界から見た，佐世保市での小学生殺人事件への所見．（雪野　清）

■最近，個人情報漏えい事件が新聞等で取り上げられることが多く，これまでの「ルールを守りなさい」というだけでなく，技術的にガードをかけることが重要になってきていると思います．ぜひ，情報漏えい対策等のセキュリティ技術について，最新動向および利用動向の特集を組んでいただきたくお願いいたします．（匿名希望）

■今後読んでみたい企画は，いわゆるセキュリティ技術と，ビジネスについての話である．お金になるのか，どう売れば良いのか，現状はどうなのか，ということを，より知りたいと思っている．（匿名希望）

■P2P 技術と著作権における問題点．（匿名希望）

■年々精度が上がってきている気象予報システム．昨今の的中率と今後のシステム動向について．（匿名希望）

■アジア各国の電子政府の取り組みを取り上げてほしい．（匿名希望）

■モバイル環境の見通しについて知りたい．（匿名希望）

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

【本欄担当　松下光範，大城正典／書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください！！

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，
- 記事に対する感想，意見
- 記事テーマの提案
- 会誌または学会に対する全般的な意見，提言
- その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言

など，自由なご意見，ご感想をお待ちしております．

なお，「道しるべ」については <URL：http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html> でこれからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．

※ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがあります．あらかじめご了承ください．

応 募 先　〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
情報処理学会　会誌編集部門　E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4508.html

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております．
<URL：http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>（読者からの声）

IPSJ カレンダー

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「社会人学生論文」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si02.html	8月31日（火）		
	論文誌「産学連携論文」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/si01.html	8月31日（火）		
	論文誌「インタラクション：技術と展開」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/hi.html	9月30日（木）		
	論文誌「システムLSIの設計技術と設計自動化」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/sldm.html	11月15日（月）		
	論文誌「多様な社会的責任を担うコンピュータセキュリティ技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/csec.html	11月30日（火）		
8月18日（水）～ 8月19日（木）	第116回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CG116.html	6月18日（金）	当日のみ	定山渓温泉ホテル花もみじ
8月19日（木）～ 8月20日（金）	第145回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/SE145.html	6月28日（月）	当日のみ	秋田大学
8月22日（日）～ 8月24日（火）	夏のプログラミング・シンポジウム「アッと驚くプログラミング～Hacker's delight～」 http://www.logos.ic.i.u-tokyo.ac.jp/prosym04/	6月4日（金）	7月2日（金）	KKRはこだて（函館市）
8月26日（木）	第89回情報システムと社会環境研究発表究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS89.html	6月11日（金）	当日のみ	化学会館会議室（御茶ノ水）
8月26日（木）～ 8月27日（金）	東北支部「平成16年度電気関係学会東北支部連合大会」 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月11日（金）	当日可	東北工業大学（仙台市太白区）
8月31日（火）～ 9月1日（水）	Webサービスコンファレンス http://www.idg.co.jp/expo/wsc/			東京コンファレンスセンター・品川
9月2日（木）～ 9月3日（金）	第119回マルチメディア通信と分散処理第25回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DPS119EIP25.html	6月25日（金）	当日のみ	北海道大学
9月4日（土）～ 9月6日（月）	第37回情報科学若手の会 http://wakate.aitea.net/		7月31日（土）	愛知県労働者研修センター サンパレ日ア瀬戸
9月7日（火）～ 9月9日（木）	FIT2004 第3回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2004/index.html		当日のみ	同志社大学（京田辺キャンパス）
9月10日（金）	第110回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/HI110.html	7月2日（金）	当日のみ	ATR
9月10日（金）～ 9月11日（土）	第145回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CVIM145.html	7月14日（水）	当日のみ	京都工芸繊維大学
9月13日（月）	第51回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MPS51.html	7月23日（金）	当日のみ	琉球大学
9月16日（木）～ 9月17日（金）	第76回情報学基礎・第163回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI76NL163.html	6月30日（水）	当日のみ	早稲田大学西早稲田キャンパス
9月16日（木）～ 9月17日（金）	第30回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/MBL30.html	7月16日（金）	当日のみ	NTT武蔵野研究開発センタ
9月16日（木）～ 9月17日（金）	第53回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/GN53.html	8月6日（金）	当日のみ	岩手県立大学
9月17日（金）～ 9月18日（土）	北陸支部「平成16年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.ec.t.kanazawa-u.ac.jp	8月10日（火）	当日可	金沢大学工学部
9月24日（金）	第35回分散システム／インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DSM35.html	7月23日（金）	当日のみ	秋田大学ベンチャービジネスラボラトリ
9月24日（金）	第46回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/DD46.html	7月23日（金）	当日のみ	凸版印刷（台東区）
9月25日（土）	四国支部「平成16年度電気関係学会四国支部連合大会」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/sikoku/sikohome.html	7月30日（金）	7月30日（金） 当日可	徳島大学
9月27日（月）～ 9月28日（火）	東海支部「平成16年度電気関係学会東海支部連合大会」 http://db.elcom.nitech.ac.jp/rengotaikai_H16/	7月5日（月）	9月8日（水） 当日可	名古屋工業大学
9月27日（月）～ 9月28日（火）	九州支部「平成16年度電気関係学会連合大会」 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月20日（火）	9月1日（水）	鹿児島大学
9月28日（火）	第18回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ITS18.html	7月20日（火）	当日のみ	機械振興会館
9月28日（火）	連続セミナー 2004 第3回「ガーベジコレクション技術の基礎」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html			東京電機大学神田キャンパス
10月13日（水）	ソフトウェアジャパン 2004 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2004/index.html	8月16日（月）		明治大学アカデミーコモン
10月14日（木）～ 10月15日（金）	組込みソフトウェアシンポジウム 2004 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-ESS2004.html	7月23日（金）		日本科学未来館
10月16日（土）	平成16年度電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.yamaguchi-u.ac.jp/	8月10日（火）	当日可	山口大学
10月20日（水）～ 10月22日（金）	コンピュータセキュリティシンポジウム 2004（CSS2004） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-CSS2004.html	8月16日（月）		北海道大学学術交流会館
10月21日（木）～ 10月22日（金）	第51回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/PRO51.html	8月22日（日）	当日のみ	東京大学駒場キャンパス
10月25日（月）	平成16年度関西支部支部大会 https://secure.kiis.or.jp/trn/ipsj-kansai/siburonbun.htm	8月20日（金）		大阪大学中之島センター
10月26日（火）～ 10月27日（水）	MPSシンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-MPS2004.html	6月16日（水）		名古屋大学
10月27日（水）～ 10月29日（金）	第137回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ICS137.html	8月27日（金）	当日のみ	ホテルメゾン軽井沢
10月28日（木）～ 10月29日（金）	第13回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/QAI13.html	8月20日（金）	当日のみ	産業技術総合研究所
10月29日（金）	連続セミナー 2004 第4回「地球シミュレーター」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html		定員になり次第	東京電機大学神田キャンパス

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
11月2日（火）	連続セミナー 2004 第5回「ヒューマノイド技術最前線」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/semiindex.html			東京電機大学 神田キャンパス
11月4日（木）～ 11月5日（金）	第11回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/EVA11.html	9月6日（月）	当日のみ	高知県工業技術センター
11月10日（水）	第6回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/UBI6.html	9月10日（金）	当日のみ	慶應義塾大学 三田キャンパス
11月16日（火）～ 11月17日（水）	第16回コンピュータシステム・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/ComSys2004.html	7月23日（金）		機械振興会館
11月17日（水）～	第90回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/IS90.html	8月27日（金）	当日のみ	静岡大学
11月26日（金）	第77回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/FI77.html	9月10日（金）	当日のみ	筑波大学 筑波キャンパス
12月9日（木）～ 12月10日（金）	分散システム／インターネット運用技術シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/S-DSM2004.html	9月6日（月）	定員になり次第	広島市まちづくり 市民交流プラザ
12月9日（木）～ 12月10日（金）	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2004」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2004/CH2004.html	9月13日（月）		立命館大学
12月17日（金）	連続セミナー 2004 第6回「ICタグ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2004/index.html			東京電機大学 神田キャンパス
2005年				
1月11日（火）～ 1月13日（木）	第46回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			ウェルシティ湯河原 （予定）
1月31日（月）～ 2月4日（金）	SAINT2005 2005年インターネット応用国際会議 http://www.saint2005.org	7月1日（木）		イタリア（トレント）
3月2日（水）～ 3月4日（金）	第67回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/67kai/index.html			電気通信大学
4月4日（月）～ 4月6日（水）	The 7th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems（ISADS2005） http://isads05.swjtu.edu.cn/index.htm	9月15日（水）		Chengdu, China
5月30日（月）～ 6月1日（水）	20th IFIP International Information Security Conference（SEC2005）	11月15日（月）		幕張メッセ

Webページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］
■7月20日　技術応用フォーラムが始動します
■7月14日　技術応用フォーラム ソフトウェアジャパン 2004 論文募集中

［学会からのお知らせ］
■6月24日　論文誌（ジャーナル）の論文査読状況を更新いたしました

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先などを記載し，掲載希望原稿（［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］）を添えて下記の申込先へ E-mail，Fax または郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．
申込期限：毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．
掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　20,000 円（税込 21,000 円）
賛助会員（企業）　30,000 円（税込 31,500 円）
賛助会員以外の企業　50,000 円（税込 52,500 円）
申 込 先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax（03）3518-8375
＊人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ＆ネットワーク LAN」にも掲載されます（料金の追加はありません）．ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■財団法人九州システム情報技術研究所

募集人員　研究員　1 名
所　　属　第 2 研究室　室長　櫻井幸一（九州大学大学院システム情報科学研究院情報工学部門教授）
専門分野　コンテンツやネットワーク等における情報セキュリティ技術に関する分野
応募資格　上記分野で研究実績や開発経験のある方．年齢 40 歳未満（平成 16 年 10 月 1 日現在）．博士の学位を有することが望ましい
着任時期　平成 16 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期
提出書類　応募書類（所定様式）および添付資料，応募書類データのフロッピーディスク，写真 1 枚　＊応募書類については，当研究所 Web サイト（http://www.isit.or.jp）からダウンロードしてください
応募締切　平成 16 年 8 月 31 日（午後 5 時 30 分までに必着）
送付先／照会先　〒 814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜 2-1-22　福岡 SRP センタービル 7F　財団法人九州システム情報技術研究所総務部
菊田・加茂・田中　E-mail:saiyou@isit.or.jp　Tel(092)852-3450　Fax(092)852-3455　＊送付は郵送または宅配便でお願いします
そ の 他　雇用形態：期限付き雇用（1 年度ごと更新可）

■千葉大学工学部都市環境システム学科

募集人員　助教授　1 名
専門分野　都市における大規模情報システム（交通情報システム，都市情報データベース，物流情報システム，情報通信システムなど）
担当科目　情報理論，情報システム，メディアプランニング演習，卒業研究および関連する大学院の授業など．当学科は A コースおよび夜間主の B コースを有しますが，両コースを担当していただきます
応募資格　博士の学位を有し，着任時 40 歳までの方
着任時期　平成 16 年 12 月 1 日以降の可能な限り早い時期
提出書類　履歴書，研究教育業績リスト（論文，著書，口頭発表など，教育上の業績・経験などの特記事項があれば記載），主要論文別刷（コピー可），これまでの研究概要と成果（1000 字程度），着任後の教育に関する抱負および研究計画（1000 字程度），推薦書または参考となる意見を伺える方 1 名の連絡先
応募締切　平成 16 年 9 月 4 日（必着）
送 付 先　〒 263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33　千葉大学工学部都市環境システム学科　学科長　前野一夫
「人事公募書類」と朱書し簡易書留　＊応募書類は原則として返却いたしません
照 会 先　都市環境システム学科　須貝康雄　E-mail:sugai@faculty.chiba-u.jp　Tel/Fax(043)290-3339
そ の 他　詳細は http://www.tu.chiba-u.ac.jp/ja/ 参照

■近畿大学産業理工学部情報学科／電気通信工学科

募集人員　（1）講師以上　1 名　（2）講師以上　1 名　（3）助教授または講師　1 名
専門分野　（1）情報システム　（2）情報科学基礎　（3）ディジタルシステム
担当科目　（1）情報システム概論など　（2）データ構造とアルゴリズムなど　（3）ディジタルシステム設計など
応募資格　博士の学位を有する方または同等以上の優れた学識と研究業績を有する方
着任時期　平成 17 年 4 月 1 日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，教育業績リスト，社会的活動調書，推薦書または問合せ可能な方の氏名および連絡先，研究計画書（800 字程度），教育計画書（800 字程度），研究業績（3 点以内の論文別刷，著書など）
応募締切　平成 16 年 9 月 6 日（必着）
送 付 先　〒 820-8555 福岡県飯塚市柏の森 11-6　近畿大学産業理工学部長　菊川　清　＊応募専門分野を朱書し書留
照 会 先　（1），（2）情報学科長　長田一興　E-mail:osada@fuk.kindai.ac.jp
（3）電気通信工学科長　久良修郭　E-mail:kyura@fuk.kindai.ac.jp　Tel(0948)22-5655　Fax(0948)29-8936
そ の 他　詳細は http://www.fuk.kindai.ac.jp/ 参照

■神戸市立工業高等専門学校電気工学科

募集人員　講師または助手　1名
専門分野　電気機器関連
応募資格　博士の学位を有するか取得見込みの方．着任時30歳くらいまでが望ましい．高専の教育（学級担任・学生指導・クラブ指導を含む）および学術研究に熱意がある方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書（A4の市販用紙），研究業績リスト（論文，著書，学会発表，特許など），主要論文別刷（5編以内，コピー可），従来の研究概要と着任後の教育・研究についての所見・抱負を含むもの（A4用紙4枚以内），応募者についての参考意見を伺える方2名の連絡先
応募締切　平成16年9月10日（必着）
送付先　〒651-2194 兵庫県神戸市西区学園東町8-3　神戸市立工業高等専門学校事務室　Tel(078)795-3326　Fax(078)795-3314
「電気工学科教員公募」と朱書し簡易書留　＊原則として応募書類は返却いたしません
照会先　電気工学科　主任　早ノ瀬信彦　E-mail:hayanose@kobe-kosen.ac.jp　Tel(078)795-3230　http://www.kobe-kosen.ac.jp/
その他　書類選考後，面接を実施します

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員　教授，助教授，専任講師のいずれか　1名
専門分野　ソフトウェアサイエンス
担当科目　専門科目として，オブジェクト指向設計，ウェブプログラミング，セキュリティ，マルチメディア，ヒューマンインタフェースから1科目以上．基礎科目として，プログラミングおよびプログラミング演習など．卒業研究も担当していただく
応募資格　博士の学位を有し，大学院における教育・研究の指導能力を有する方
着任時期　平成17年4月1日
応募締切　平成16年9月17日（必着）
照会先　情報科学科　主任　紀　一誠　E-mail:kino@info.kanagawa-u.ac.jp　Tel(0463)59-4111（ext. 2236）
その他　提出書類，送付先，待遇などの詳細はhttp://www.info.kanagawa-u.ac.jpの教員公募情報を参照

■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員　教員（助手）1名
専門分野　情報工学（ソフトウェア系）
応募資格　博士の学位を有すること（採用予定日までに取得見込みの方も含む），採用時の年齢が30歳くらいまでで教育・研究，および学生指導に熱意のある方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書（市販の書式），研究業績リスト（著書・論文・口頭発表・その他），主要論文別刷（5編以内），これまでの研究経過概要（A4用紙1000字程度，1部），着任後の教育・研究に関する抱負（A4用紙1200字程度，1部），推薦書1通（応募者に関して照会のできる方2名の連絡先をもって替えることができる）
応募締切　平成16年9月17日（必着）
送付先　〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580　群馬工業高等専門学校庶務課人事係　E-mail:jinji@jim.gunma-ct.ac.jp
Tel(027)254-9010（ダイヤルイン）　Fax(027)254-9022　http://www.gunmact.ac.jp/
「電子情報工学科教員応募書類」と朱書し簡易書留　＊応募書類は原則として返却いたしません
照会先　電子情報工学科　主任教授　佐々木信之　E-mail:sasaki@ice.gunma-ct.ac.jp　Tel(027)254-9246（ダイヤルイン）

■近畿大学生物理工学部電子システム情報工学科

募集人員　助教授または専任講師　1名
専門分野　情報工学など
応募資格　博士の学位を有し，バイオインフォマティクス関連の研究のできる方．学部において情報関連の基礎教育のできる，大学院で講義可能な方．教育に関して高い見識を有し，学生の知育を重視する人物であること．電子・情報系の資格取得を視野に入れた教育をできる方が望ましい
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文内容を示す別刷（コピー可，2～3部），教育・研究に対する抱負（A4用紙2枚程度）
応募締切　平成16年9月30日（必着）
送付先／照会先　〒649-6493 和歌山県那賀郡打田町西三谷930　近畿大学生物理工学部電子システム情報工学科　学科長　本津茂樹
E-mail:hontsu@info.waka.kindai.ac.jp　Tel(0736)77-3888（ext.4204）　Fax(0736)77-4754
必ず「応募書類在中」と朱書し書留　＊成否は必ず連絡いたしますが，関係書類は返却いたしかねますので，あらかじめご留意ください
その他　選考方法：書類選考の上，面接・模擬講義を行う

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員　助教授　1名
所　　属　情報システム運用学専攻社会情報システム学講座
専門分野　社会情報システム学（社会システム論，組織論，情報システム論，モデリングとシミュレーションなどを含む）
応募資格　次の（1）の条件を満たすこと．さらに，原則として（2）および（3）の条件を満たすこと：(1) 博士の学位を有する方（2）大学，研究機関などで教育研究活動の経験を有する方（3）着任時年齢35歳以下が望ましい
着任時期　平成17年4月1日までのできる限り早い時期
提出書類　履歴書（学歴，職歴，学会活動，受賞歴などを含む），研究業績リスト（著書，学位論文，学術雑誌論文，国際学会論文などに分類），学位論文要旨，担当職務分野に関連する主要著書・学術論文別刷（コピー可），研究概要および研究計画書（2000字程度），教育実績および教育に関する見解（1000字程度），健康診断書，参考となる意見を伺える2名の方の氏名と連絡先
＊応募書類は原則として返却いたしません．ただし，著書については，返却を希望され，あらかじめお申し出をいただいた場合は返却いたします
応募締切　平成16年9月30日（必着）
送付先／照会先　〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1　国立大学法人電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム運用学専攻
専攻主任　箱崎勝也　E-mail:hako@is.uec.ac.jp　Tel(0424)43-5650　Fax(0424)43-5682
http://www.is.uec.ac.jp/ev-new/bosyu0406-u.html を参照 「社会情報システム学講座助教授応募書類在中」と朱書し書留
そ の 他　選抜方法：書類・業績審査の後，必要に応じてプレゼンテーションをお願いすることがあります

■阪南大学経営情報学部経営情報学科

募集人員　(a) 教授，助教授，または専任講師　1名　(b) 教授，助教授，または専任講師　1名
担当科目　(a)（eコマース分野）「eビジネス論」および「インターネットエコノミー」
(b) 情報産業論（または，データベース論，コンピュータ構成論）
応募資格　(a) IT革命と経営環境の変化，バリューチェーン，SCM，新しいビジネス・モデル，ecサイトなどに深い関心と研究業績（または実務経験）があり，特にグローバルな視点を有している方．周辺領域の教育・研究にも積極的に取り組んでいただける方．また，本学ビジネススクールなど社会人向け講座をコーディネートできる方が望ましい
(b) 先端情報産業，データベース，データマイニング関連，画像情報関連，ロボティクスなどについて，研究業績または深い応用・実務経験を有し，本学ビジネススクールなど社会人向け講座などに積極的にかかわることができること．なお，本学大学院企業情報研究科の講義を担当できる方が望ましい
着任時期　平成17年4月1日（予定）
提出書類　履歴書（本学指定様式），職務調書（本学指定様式），教育研究業績書（本学指定様式，教育上の業績および職務上の実績に関する特記事項を含む），研究業績現物（主要論文・著書など5点以内．印刷またはコピー可），顔写真（パスポート貼付サイズ），健康診断書（公的な医療機関で受診した健康診断書をご提出ください）　＊なお，提出書類の本学指定書式については，阪南大学Webサイトよりダウンロードしてください（http://www.hannan-u.ac.jp/）
応募締切　平成16年9月30日（必着）
送 付 先　〒580-8502 大阪府松原市天美東5-4-33　阪南大学　経営情報学部長　市川隆男 「（科目名）公募書類在中」と朱書し簡易書留
＊提出書類は返却いたしません
照 会 先　経営情報学部　人事委員会　E-mail:keijo-koubo@hannan-u.ac.jp　Fax(072)337-4385　＊電話でのお問合せはご遠慮ください
そ の 他　選考方法：書類選考，面接，必要に応じて模擬授業または課題発表を行っていただきます
選考結果の通知：学内選考手続きが終了次第（11月初旬），本人に直接通知します

■横浜国立大学大学院工学研究院

募集人員　助教授または講師　1名
所　　属　知的構造の創生部門電気電子と数理情報分野
専門分野　情報工学の分野（計算機アーキテクチャ，3次元画像処理，画像処理，組み込みソフトウェア），および関連する分野
応募資格　博士号学位取得者で，平成16年12月末時点で30～35歳程度の方
着任時期　平成17年1月1日～平成17年4月1日
提出書類　履歴書，業績リスト，これまでの研究業績とこれからの研究計画の概要（A4用紙で1～2枚程度），主要論文別刷（コピー可，各1部ずつ），大学院博士課程の指導教官の推薦書1通，照会可能な方3名の氏名・所属・連絡先
応募締切　平成16年9月30日
送付先／照会先　〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5　横浜国立大学大学院工学研究院知的構造の創生部門電気電子と数理情報分野電気電子ネットワークコース　教授　土肥康孝　E-mail:dohi@ynu.ac.jp　Tel(045)339-4128（教官室）
Fax(045)338-1157（事務室）「人事応募書類在中」と朱書し書留　詳しくはWebサイト http://www.dnj.ynu.ac.jp/ を参照
＊お送りいただいた履歴書などの書類は返却いたしません
そ の 他　選考方法：書類選考のほか面接あり（平成16年10月中下旬）

■立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科

募集人員　教授または助教授　1名
専門分野　情報コミュニケーション分野（ネットワーク，ソフトウェア，マンマシンインタラクション，ヒューマンコミュニケーション）．なお，実験・演習科目も担当していただきます
応募資格　国籍を問わず，本学での教育・研究に熱意を持っている方．博士の学位を有し，専門分野の研究業績がある，日本語での授業が可能な方．原則として平成17年4月1日現在で満60歳以下の方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　応募する職名の区分（教授，助教授）を記載した書類（自由書式，要押印），履歴書（本人の署名または記名押印，「学歴」，「職歴」，「学位」，「所属学会」について記入のこと），研究業績書（「著書」，「論文」，「査読つき会議」，「査読なし会議」，「特許」，「その他（報告書を含む）」の区分ごとに，ページ数を記入のうえ，発表年月の古いものから順に並べて記載すること），教育業績書（教育歴については大学・学部学科，担当科目名称などをご記入ください．また，情報系科目以外の数学，物理，化学などの教育歴がある場合についてもご記入ください），主要研究業績（著書または論文，5件以内，コピー・抜刷可），現在までの研究内容の説明と今後の研究計画の概要および当該研究分野の将来展望について（1500字程度），教育に対する抱負（500字程度），応募者について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先ならびに応募者との関係を記した書類　＊健康診断書の提出は不要ですが，採用決定までに本学保健センターの健康診断を受けていただく必要があります
応募締切　平成16年9月30日（必着）
送付先　〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1　立命館大学情報理工学部　情報理工学部長　飯田健夫 「情報コミュニケーション学科教員応募書類在中」と朱書し必ず書留　＊提出書類は返却いたしませんので，あらかじめご了承ください
照会先　BKC教務センター情報理工学部　担当：田尻，香積（かづみ），堀部　E-mail:johoriko@st.ritsumei.ac.jp
Tel(077)561-5202（直通）　Fax(077)561-5203　（8月12～17日は夏季休業期間です）
その他　給与など：立命館大学の給与規程などによります

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員　教授　1名
所属　計算理工学専攻基盤計算科学講座計算数理研究グループ
専門分野　計算科学あるいは情報科学の基礎となる数理，アルゴリズムの分野
担当科目　大学院の教育・研究指導と学部応用物理学コースの講義・演習を担当
応募資格　博士号取得者
着任時期　決定後なるべく早い時期
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（5編），これまでの研究概要と今後の研究計画・教育についての抱負（それぞれA4用紙2ページ，1ページ程度），本人について照会可能者（2名）の氏名・所属・連絡先，その他の特記事項
応募締切　平成16年10月1日（必着）
送付先／照会先　〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町　名古屋大学大学院工学研究科　計算理工学専攻長　金田行雄
E-mail:kaneda@cse.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-3715　「基盤計算科学講座教授応募」と朱書し簡易書留

■新居浜工業高等専門学校電子制御工学科

募集人員　助教授または講師　1名
専門分野　情報工学系
担当科目　情報工学，情報通信システム，電子制御実験など
応募資格　博士の学位または技術士の資格を有し，高専の教育（ものづくり教育）と研究，学生指導，課外活動などに熱意のある方．年齢は43歳以下の方
着任時期　平成17年4月1日
応募締切　平成16年10月1日（必着）
照会先　電子制御工学科　主任　田中大二郎　E-mail:tanaka@ect.niihama-nct.ac.jp
提出書類などの詳細はhttp://www.niihama-nct.ac.jp/をご覧ください

■呉工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員　教授　1名
専門分野　情報工学（OS，DB，アルゴリズム，符号理論）に関する分野
応募資格　博士の学位を有し，高専教育に熱意のある方．情報処理に関する資格を有する，年齢が40歳代の方が望ましい
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書，著書・論文リストなど，主要な著書・論文の別刷またはコピーおよび概要，科学研究費補助金・各種研究助成金の取得状況，研究成果および教育実績（1000字程度）ならびに着任後の教育・研究に対する抱負（1000字程度），推薦書（所定様式をhttp://www.kure-nct.ac.jpよりダウンロードする）
応募締切　平成16年10月5日（必着）
照会先　電気情報工学科　主任教授　植田義文　E-mail:ueda@kure-nct.ac.jp　Tel (0823)73-8470　Fax(0823)73-8474

■東海大学電子情報学部情報メディア学科

募集人員　講師以上　1名
専門分野　(1) コンピュータ　(2) ソフトウェア（OS，情報処理システムなど）
担当科目　コンピュータ基礎，コンピュータアーキテクチャ，コンピュータシステム，プログラミング実習など
応募資格　まず教育・研究活動に強い情熱をお持ちで，博士もしくは博士の学位相当の力をお持ちの方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書（A4用紙ワープロ打ち，氏名・生年月日・学位称号・本務勤務先および職名・現住所・学歴・職歴・学会および社会における活動・賞罰などを記載），研究業績リスト（A4用紙ワープロ打ち，著書，論文，学会・学術集会発表（最近5年），設計・計画・調査報告，フィールドワーク，教育・啓発活動などを記載），著書・論文・学会／学術集会発表・調査報告書などの別刷（コピー可，各1部），応募の動機・本学での教育／研究への抱負（A4用紙ワープロ打ち，1500字程度），推薦をしていただける方の氏名・所属先・連絡先・ご関係
応募締切　平成16年10月8日（必着）
送付先／照会先　〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117　東海大学電子情報学部情報メディア学科　主任　大原茂之
E-mail:ohara@tokai.ac.jp　Tel(0463)58-1211（ext.5080）Fax(0463)50-2412
そ の 他　書類選考後に面接を行います

■法政大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員　教授または助教授　1名
専門分野　情報科学
担当科目　コンパイラ，Java，オペレーティングシステムなど
応募資格　博士の学位を有し，大学院での研究を指導できる方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書（教育歴の記述を含む），研究業績リスト，主要論文別刷，本人について問合せのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切　平成16年10月15日（必着）
送付先／照会先　〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2　法政大学情報科学部　学部長　小池誠彦　E-mail:koike@k.hosei.ac.jp
Fax(042)387-4560 「教員応募書類」と朱書きし書留　＊応募書類は返却いたしません

■旭川工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員　教授　1名
専門分野　制御情報工学（情報科学・工学，機械工学，電気電子工学における2分野以上が望ましい）
応募資格　上記分野を専門とし，実験・卒業研究・特別研究（専攻科）の指導を担当できる方．上記専門分野の授業を担当できる方（科目は学科で調整いたします．カリキュラムは http://www.asahikawa-nct.ac.jp/seigyo/ を参照してください）．博士の学位を有する方（技術士資格保有者であることが望ましい）．高等専門学校での教育・研究および学生指導に熱意のある方．年齢は40～55歳程度が望ましい
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書（第1号様式），研究業績リスト（第2号様式），主要著書・論文別刷（コピー可），研究・開発などの履歴リストおよび研究・開発の概要（第3号様式），教育業績リスト（第4号様式），高専教育に対する抱負（第5号様式），推薦書または応募者について照会可能な方2名以内の氏名・所属・連絡先，その他必要とする書類　＊提出していただいた書類は返却いたしません
応募締切　平成16年10月29日（必着）
送 付 先　〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6　旭川工業高等専門学校庶務課人事係　E-mail:jinji@asahikawa-nct.ac.jp
Tel(0166)55-8105　Fax(0166)55-8082　郵送の場合は「制御情報工学科教員応募書類」と朱書し簡易書留
照 会 先　制御情報工学科長　古川正志　E-mail:mack@asahikawa-nct.ac.jp　Tel/Fax(0166)55-8032
そ の 他　本校Webサイト（http://www.asahikawa-nct.ac.jp）も参照ください．なお，応募に必要な様式については，本校のWebサイトからダウンロードしてご利用ください

■旭川工業高等専門学校電気情報工学科

募集人員　教授　1名
専門分野　情報・通信工学
応募資格　博士の学位を有する方（技術士資格保有者が望ましい）で，年齢は50歳以上の方が望ましい
着任時期　平成17年4月1日，または採用決定後できるだけ早い時期
提出書類　履歴書（第1号様式），研究業績リスト（第2号様式），主要著書・論文別刷（コピー可），研究・開発の履歴リストおよび研究・開発の概要（第3号様式），教育業績リスト（第4号様式），高専教育に対する抱負（第5号様式），推薦書（または応募者について照会可能な2名以内の氏名・所属・連絡先）
応募締切　平成16年10月29日
送 付 先　〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6　旭川工業高等専門学校庶務課人事係　Tel(0166)55-8105　郵送の場合は「電気情報工学科教員応募書類」と朱書し簡易書留
照 会 先　電気情報工学科長　土橋　剛　E-mail:dobashi@asahikawa-nct.ac.jp　Tel/Fax(0166)55-8018
そ の 他　応募書類様式はWebサイト（http://www.asahikawa-nct.ac.jp）からダウンロードできます

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員　教授または助教授　1名
所　　属　電子情報システム専攻コンピュータ工学講座
専門分野　情報・通信工学分野（分野例として，ユビキタスシステム，モバイルコンピューティング，グリッドコンピューティング，情報セキュリティ，センサネットワークなどがあるが，これらに限定しない）
応募資格　博士の学位を有する方
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（5編），これまでの研究概要（A4用紙2枚程度），今後の計画および教育についての抱負（A4用紙2枚程度），本人について照会可能な方（2名以内）の氏名・所属・連絡先，審査に役立つと応募者が判断するその他の事項（学会および社会活動，教育活動など）
応募締切　平成16年11月1日（必着）
送付先／照会先　〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町　名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻　主任　鈴置保雄
E-mail:suzuoki@nuee.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-3148　Fax(052)789-2108
「コンピュータ工学講座教授（または助教授）応募書類在中」と朱書し書留
そ の 他　詳細は http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/ 参照

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員　助教授　1名
所　　属　電子情報システム専攻電子情報通信講座
専門分野　情報通信ネットワーク分野（次世代インターネット，通信プロトコル，自律分散／協調システム，ネットワークミドルウェア，通信トラフィックエンジニアリングなど）
応募資格　博士号取得者
着任時期　平成17年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類　履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（5編），これまでの研究概要（A4用紙2枚程度），今後の計画および教育についての抱負（A4用紙2枚程度），本人について照会可能な方（2名以内）の氏名・所属・連絡先，審査に役立つと応募者が判断するその他の事項（学会および社会活動，教育活動など）
応募締切　平成16年11月1日（必着）
送付先／照会先　〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町　名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻　主任　鈴置保雄
E-mail:suzuoki@nuee.nagoya-u.ac.jp　Tel(052)789-3148　Fax(052)789-2108
「電子情報通信講座助教授応募書類在中」と朱書し書留
そ の 他　詳細は http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/ 参照

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員　教授・助教授または講師　2名
専門分野　情報工学（1名はシステムLSI関連の方，1名はネットワーク関連の方が望ましい）
学 科 目　コンピュータハードウェア工学，コンピュータソフトウェア工学
主な担当科目　論理設計，ネットワーク・プログラミング，情報工学実験
応募資格　専門分野のうち，特に学科目に関連ある分野で研究業績があり，次に該当する方：(1) 博士の学位を有するか着任時までに取得見込みの方 (2) 大学院の担当が可能な方が望ましい (3) 50歳以下の方が望ましい (4) 教育経験のある方が望ましい
着任時期　平成17年4月1日
提出書類　履歴書，業績リスト（査読付き論文とその他の論文を区別のこと），主要論文別刷（5編程度），これまでの研究概要と今後の研究計画，本学における教育に対する抱負，博士の学位取得見込みの場合は指導教授の推薦書
応募締切　平成16年11月12日（必着）
送 付 先　〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1　福岡工業大学　教務課長　重松　亮 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書し簡易書留　Tel(092)606-0647（ダイヤルイン）　Fax(092)606-7310
照 会 先　情報工学科　学科長　田中卓史　E-mail:tanaka@fit.ac.jp　Tel(092)606-4865（ダイヤルイン）　Fax(092)606-1342

■産業技術総合研究所生命情報科学研究センター（CBRC）

募集人員　産総研特別研究員（ポスドク），テクニカルスタッフ　それぞれ若干名（適任者を随時採用）
専門分野　応募資格を参照のこと
応募資格　【ポスドク】タイプ1：生命情報科学（バイオインフォマティクス）の研究経験がある博士号既得者．かつ将来当分野の研究リーダーとなるために必要な素養を身に付けることを目的としながら，当研究センターで研究を行う方．タイプ2：バイオインフォマティクスの研究経験不問．他の分野で優れた研究経験があり，分野を転向して生命情報科学の研究に従事する熱意のある方
【テクニカルスタッフ】タイプ1：生物系，理学系，工学系大学・修士卒以上．バイオインフォマティクスの研究経験があること．30歳程度まで．タイプ2：高度なプログラミングのスキルを持ち，バイオインフォマティクスの研究現場で研究者と協調してソフトウェア開発を行える方．35歳程度まで
着任時期　応相談
提出書類　履歴書，研究業績リスト，志望動機
応募締切　締切はなく，通年募集
送付先／照会先　Eメールにてのみ受付．上記提出書類をinfo@cbrc.jpまでテキスト形式にて送信　詳細はhttp://www.cbrc.jp/参照
そ の 他　【ポスドク】時給1,900～3,000円（委細面談）．任期は原則2年（特段の場合3年に延長）
【テクニカルスタッフ】時給1,700～3,000円（委細面談）．任期更新制

ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について

各学協会との協定により，本会会員の会費が割引になります（本会Webページ：http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html参照）．会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき，学術・技術の向上にお役立てください．なお，入会申込み等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください．

1. ACM（Association for Computing Machinery）　http://www.acm.org/
　正会員（Voting Member）会費を20%割引

2. IEEE（The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.）　http://www.ieee.org/
　IEEE-CS（IEEE Computer Society）　http://computer.org/
　Full Member（IEEEおよびIEEE + IEEE-CSの会員）の会費を10%割引

【照会／入会申込先】
◆ ACM日本事務局
〒107-0062 東京都港区南青山5-10-5　九曜ビル903
Tel (03)5466-1761　Fax (03)5466-1762
◆ IEEE東京支部
〒105-0003 東京都港区西新橋3-6-2　ツカサビル6F
Tel (03)5776-7670　Fax (03)5776-7671
◆ IEEE-CSアジア・パシフィック・オフィス
〒107-0062 東京都港区南青山1-4-2　南青山渡辺ビル6F
Tel (03)3408-3118　Fax (03)3408-3553

FIT2004 第3回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2004 ホームページ：http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2004/

(社)電子情報通信学会情報・システムソサイエティ及びヒューマンコミュニケーショングループと(社)情報処理学会は従来の大会形式にとらわれずに，新しい発表形式を導入し，タイムリーな情報発信，議論・討論の活性化，他領域研究者との交流等の実現をコンセプトとして標記フォーラムを以下のとおり開催致します。皆様，奮って御参加下さい。

聴講参加の受付は，会場の総受付にお越し頂き聴講参加費をお支払いの上御参加下さい。

会　期：2004年9月7日(火)～9日(木)

会　場：同志社大学京田辺キャンパス(京都府京田辺市)

交　通：JR　京都駅～近鉄京都線興戸駅　下車徒歩15分
新田辺駅下車バス　8分
JR大阪駅～JR学研都市線同志社大前駅　下車徒歩10分

■交通・宿泊の御案内

FIT2004ホームページの以下のURLよりお申込み下さい。
http://j-click.jtb.co.jp/registryj/registryj.asp?id=0305
問合せ先：(株)ジェイティービー団体旅行新宿支店池田・大野
Tel.03-3346-0131　Fax.03-3346-8248(月～金：9:30～17:30)

■聴講参加費(税込み)

参加区分	聴講参加費(含まれる物)
会員	8,000円(プログラム・参加章・CD-ROM)
非会員	16,000円(プログラム・参加章・CD-ROM)
学生	無料(プログラム・参加章)

※聴講参加は，すべて当日会場での受付となります。
但し講演論文集，CD-ROM事前申込みから個人でCD-ROMを御購入頂きました方には，聴講参加章引換券をお送りしておりますので，FIT2004へ参加される場合には参加章引換券を御持参頂き総受付に御呈示下さい。
なお，非会員でCD-ROMを購入された方には，非会員聴講参加費との差額8,000円を会場でお支払い頂きます。
※会員，非会員，学生の参加区分の区別は以下のとおりです。
会　員：情報処理学会，電子情報通信学会，電気学会，照明学会，映像情報メディア学会および電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(大韓電子工学会，IEEE/Com. Soc.,IEEE/LEOS，IEEE/EDS，IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM，IEEE，IEEE/CS，KISS，CSI)の個人会員に限ります。
非会員：上記の学会会員以外の方。
学　生：会員/非会員を問わず無料です。

■冊子講演論文集・CD－ROM販売価格(税込み)

講演論文集	個人購入価格	法人購入価格
セット	57,000円	57,000円
各分冊	10,000円	15,000円
CD-ROM	8,000円	55,000円

※会期中も講演論文集，CD-ROMの販売を致しますが残部のある限りということになりますので予め御了承下さい。
(事前販売は，7月16日(金)をもって終了致しました。)
※セットには，CD-ROM，セットカバーが付きます。
※CD-ROM学割会場販売価格2,500円。
※講演論文集の内容
情報科学技術レターズ：査読付論文
一般講演論文集：4分冊
第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング，ソフトウェア，アーキテクチャ・ハードウェア，けいはんな学研セッション
第2分冊：データベース，自然言語・文書・ゲーム，人工知能，音声・音楽，生体情報科学
第3分冊：画像認識・メディア理解，グラフィクス・画像，ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
第4分冊：インターネット，ネットワーク・モバイルコンピューティング，教育・人文科学，情報システム
CD-ROM：全論文、プログラムを収録

■懇親会

開催日時：9月8日(木)18:00
会　場：同志社大学 紫苑館
参 加 費：※すべて当日での受付(支払い)となります。

参加区分	懇親会参加費(税込)
社会人	5,000円
学　生	2,000円

■イベント企画

-9月8日(水)-
13:00-14:30：メイン会場(恵道館2F KD-201)
船井業績賞　金出武雄(カーネギーメロン大)
特別講演：「計算機視覚の研究－その仕組みと今後」
15:00-17:00：メイン会場(恵道館2F KD-201)
パネル討論：「『素人発想，玄人実行』金出教授と若手研究者の本音とーく」

-9月7日(火)-
9:00-12:00：メイン会場
JABEE：情報および情報関連分野における最低水準とは？
9:00-12:00：サブメイン第1会場
SPAM 対策技術の最前線－インターネット技術スペシャルセッション
9:00-16:00：サブメイン第3会場
船井ベストペーパー賞選考会
12:30-17:45：メイン会場
プレミアワークショップ：ユビキタス・モバイルネットワークとセキュリティ
13:00-16:30：サブメイン第1会場
ソフトウェアと，日本の社会～特徴を強みに変えていくには～
14:00-17:30：サブメイン第2会場
情報科学技術分野のファンディング戦略
～JSTのPriority Settingにむけて～

-9月8日(水)-
9:00-12:00：サブメイン第2会場
高度医療を支える安全ME技術
9:00-12:00：サブメイン第3会場
FIT賢人会議：情報学のセントラルドグマ
10:30-12:00：サブメイン第1会場
ここに注意しよう日本人の英語の発音
14:30-18:00：サブメイン第2会場
誰にでも参加できる学会を目指した情報保障のあり方について
15:00-17:30：サブメイン第1会場
『淘汰の時代』の産業界が求める大学の教育・研究レベル
～IT(情報・通信)分野の大学評価結果発表
15:00-17:30：サブメイン第3会場
分子イメージング

-9月9日(木)-
9:00-12:30：サブメイン第1会場
リコンフィギャルブル技術は役に立つのか？
9:00-12:00：サブメイン第2会場
Web知的処理の基礎
13:00-16:00：サブメイン第1会場
量子コンピュータの科学
13:00-15:50：サブメイン第2会場
パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト

9月7日(火)13:00-17:40，**8日(水)**　9:00-12:00：サブメイン第4会場
けいはんな学研セッション

■次年度のFIT2005開催　平成17年9月7日(水)～9日(金)

中央大学(東京都文京区)にて開催予定

有料会告

ソフトウェアジャパン 2004
～ソフトウェアの明日が見える一日～
参加募集

http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2004/

日程：2004 年 10 月 13 日(水) [引き続き，14 日(木)-15 日(金)に組込みソフトウェアシンポジウム(会場：日本科学未来館)を開催予定]
会場：明治大学 アカデミーコモン(JR 御茶ノ水駅徒歩 3 分，東京都千代田区神田駿河台，情報処理学会事務局隣)
主催：情報処理学会
協賛：情報処理振興機構，情報サービス産業協会，日本情報システム・ユーザー協会，電子情報通信学会，
日本ソフトウェア科学会，XML コンソーシアム，ほか(予定)
後援：経済産業省，総務省ほか(予定)

ソフトウェアジャパン宣言：日本のソフトウェアに新風を！

ソフトウェアシステムとソフトウェア工学が新たな進化の段階に変貌しつつあります．企業ソフトウェアシステムは Web を介して相互連携が進むとともにソフトウェアサービスという新たな利用モデルが広がりつつあります．一方，組込み/ユビキタスシステムの普及に伴い，現代社会はいたるところにソフトウェアがある「ユビキタスソフトウェア」社会へと進化しています．この結果，近年の大規模システム障害が惹起するように，ソフトウェアシステムの開発とオペレーションのリスクは社会全体を巻き込むほどに増大しています．

これに対して，ソフトウェア工学ではオブジェクト指向など様々な技術が統合され，進化を続けていますが，現場への普及は期待されているほどに進んでいません．わが国のソフトウェア産業の競争力の強化が求められています．ソフトウェアエンジニアリングセンターの設置はこの一環です．今こそ，わが国のソフトウェアシステムの研究・開発・運用に関わるすべての人々が，世界をリードできるソフトウェアシステムとソフトウェア工学の研究開発・実践へ挑戦すべきです．

「ソフトウェアジャパン 2004」はソフトウェア技術者，管理者，経営者が一同に会し，実務的な視点から研究開発と経験の交流を図り，わが国のソフトウェア産業が直面する挑戦課題と今後の展望を討議する新たな場として，下記のようなプログラムを予定しています．多くの方の参加をお待ちしています．なお，詳細は，「ソフトウェアジャパン 2004」Web ページに順次公開する予定です．

プログラム

基調講演，招待講演，一般講演，チュートリアル，パネル討論などを予定しています．オープンセッションは無料となります．プログラムの詳細は，情報処理 9 月号，ならびに，Web ページをご覧下さい．

(1) 基調講演，招待講演，全体パネル討論[多くのオープンセッションを予定しています]

a) **ソフトウェアシステム技術の明日を拓く**：もの造りとソフトウェア，ソフトウェア製品における開発プロセスとマネジメント，大規模システム構築技術の動向

b) **次世代ソフトウェアプラットフォーム**：ユビキタスネットワーク，エンタープライズアーキテクチャ，Eclipse オープンソースプラットフォーム

c) **ソフトウェア応用技術への日本からの挑戦**：ソフトウェアエンジニアリングセンター，情報家電のソフトウェア，自動車とテレマティクス

d) **パネル：日本のソフトウェアを変えよう**

(2) 一般講演[下記のテーマの研究開発，実践経験の発表，講習会，ミニワークショップなどを予定しています]

1) アジャイル開発時代のソフトウェア技術とその実践，オブジェクト指向/コンポーネント指向/サービス指向/アスペクト指向，要求工学，ソフトウェアパターン
2) 組込み/ユビキタスシステム開発[引き続き，10 月 14-15 日に組込みソフトウェアシンポジウムを開催予定]
3) ソフトウェアプロセスとプロセス改善，プロジェクト管理，PMO，リスク管理，ソフトウェア調達，エンタープライズアーキテクチャ
4) オープンソースソフトウェアの適用
5) メトリクスと評価，試験
6) IT・ソフトウェア技術者の人材育成，女性 IT 技術者
7) 企業における事例紹介

参加費：オープンセッション(無料)とプロフェッショナルセッション(有料)を予定
プロフェッショナルセッションの参加費(すべてのセッションに参加できます)：情報処理学会会員：5,000 円，非会員：10,000 円
参加申込：Web ページから申込み下さい．
問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧下さい．
技術応用運営委員会：徳田英幸(慶応大，委員長)，青山幹雄(南山大，副委員長)，上原三八(富士通研)，竹林洋一(静岡大)，丸山 宏(日本 IBM)

ソフトウェアジャパン 2004 スポンサー／サポーター募集

情報処理学会では，「日本のソフトウェアに新風を！」を合言葉に，ソフトウェアに関する新たな活動を始めます．この活動に賛同頂ける企業，大学，団体などを募集しています．詳しくは，Web ページまたは jigyo@ipsj.or.jp までお問い合わせ下さい．

会誌「情報処理」46 巻表紙デザイン募集 !!

会誌編集委員会

会誌編集委員会では，読者の方々にとってより親しみやすく，また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し，日々努力しております．

つきましては，来年の表紙デザインを広く募集いたします．奮ってご応募ください．採用された方には賞金を贈呈いたします．

応募条件
- 表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）．
- A4 判（天地 297mm ×左右 210mm）4 色フルカラー．
- 描画手法は問いません．
- 「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください．
- 応募資格は問いません．
- 詳細は会誌編集部門までお問い合わせください．

注意事項
- 応募作品は希望がないかぎり返却しません．
- 採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります．
- 採用作品の著作権は（社）情報処理学会に帰属します．
- 応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）．
- 応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします．

応募締切　平成 16 年 11 月 1 日（月）（必着）
結果通知　平成 16 年 12 月下旬
賞　　金　採用者 1 名に 5 万円

送付先／照会先　（社）情報処理学会　会誌編集部門
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel.03-3518-8371　Fax.03-3518-8375

会　員　各　位

過去に発行された当会会員名簿は「会員相互間の連絡や情報交換」を目的としています．

最近この目的をはずれ，「広告，諸勧誘，商取引等の営利活動に不正に利用される」方がおられますが，このような行為は厳重に謹んでください．名簿を廃却される場合にも，再利用されることのないようご注意願います．

また，上記不正利用にあてはまらない場合でも，受け取った相手が不愉快な思いをされないよう，節度を持った利用をお願いいたします．

当会では，現在会員名簿を発行しておりません．

ご意見をお寄せください！

【9 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　（社）情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4508.html　Fax(03)3518-8375　E-mail:editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）

［コード］

1. ご氏名

2. ご所属　　Tel.（　　）　　-

3. E-mail:

4. 業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関　（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生　（f）その他 …… 4-

5. 職種：（a）研究職　（b）開発・設計　（c）システムエンジニア　（d）営業　（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職　（g）教官／教員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生　（j）その他 …… 5-

6. 年齢：（a）10 代　（b）20 代　（c）30 代　（d）40 代　（e）50 代　（f）60 代以上 …… 6-

7. 性別：（a）男性　（b）女性 …… 7-

8. あなたはモニタですか？：（a）はい　（b）いいえ …… 8-

9. あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望 …… 9-

10. 今月号（2004 年 8 月号）の記事についてのあなたの評価をご記入ください．
［ a …大変参考になった　b …よい　c …普通，どちらとも言えない　d …悪い　e …読んでいない ］

特集：無線 LAN 技術を利用したインターネットの構築
電波開放戦略 …… 10-1-
無線 LAN 各規格の概要とプロトコル …… 10-2-
無線 LAN チップセットの開発動向 …… 10-3-
無線 LAN の実利用環境における性能 …… 10-4-
新世代モバイルネットワークへの展開 …… 10-5-
無線 LAN を使った高速ハンドオーバー …… 10-6-
モバイル IP を用いた安全なキャンパスワイド無線 LAN インフラ構築事例 …… 10-7-
無線 LAN とモバイル IP による高速移動体通信 …… 10-8-
無線 LAN による公衆無線インターネットサービス みあこネット …… 10-9-
ITS における無線 LAN の活用と標準化の課題 …… 10-10-
アメリカ IT まわりの話題：Google の IPO …… 10-11-
Web サービス：Web サービスの系譜 …… 10-12-
プログラム・プロムナード：組木細工 …… 10-13-
インターネット生活向上委員会：Bookmarklet を使って WWW ブラウザをカスタマイズする …… 10-14-
20 世紀の名著名論：Niklaus Wirth : Algorithms + Data Structures = Programs …… 10-15-
20 世紀の名著名論：D. E. Knuth, J. H. Morris, V. R. Pratt : Fast Pattern Matching in Strings …… 10-16-
日本の IT 事情：忘れたいこと忘れてはいけないこと …… 10-17-
情報技術と教育：ソフトウェア工学教育の確立へ向けて …… 10-18-
データ放送記述言語「BML」 …… 10-19-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください．

12. 著者への質問，今後取り上げて欲しいテーマ，また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください．

■ 編集室 ■

本特集の中で，無線 LAN の普及が多岐にわたることが再三述べられています．実際に本特集の編集では，企画の発案から，構成の検討，執筆者への依頼，入稿，編集，校正というすべてのプロセスが，当然のごとくインターネットを介して，電子メールやファイル転送により進められました．また，そこでは，無線 LAN 経由でのインターネットアクセスも多く利用されました．編集の依頼を受けたときには，映画などにあるように，筆者と机をはさんで赤鉛筆片手に打ち合わせするシーンも目に浮かんだのですが，そのようなシーンは一切なく，まさにインターネットの有益性を実務レベルで実感させていただきました．一方で，筆者としては，やはりレイアウト後のプリントアウトを，ラインマーカ片手に読み，校正をしましたが，各執筆者，編集局の皆様も同様に，個々の業務はアナログ的に進んだであろうと思うと，いささか不思議なものを感じます．

本特集では，電波施策から規格，事例，先端研究までの広範囲を網羅するため，章構成などに検討を要しましたが，幸い執筆者の皆様から適切なアドバイスをいただき，バランスのとれた特集として無事まとめることができました．

（真野　浩／本特集ゲストエディタ）

次号（9 月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」ユビキタスコンピューティングとネットワーク社会の到来に向けて

ユビキタスコンピューティングとネットワーク社会の到来に向けて／ユビキタス情報処理による社会支援／歩行空間のバリアフリー化を目指すユビキタスシステム RCT ／ IC タグを用いた歩行者の経路誘導－視覚障害者向け道案内システム－／携帯カメラを用いたユビキタス情報インタフェース／環境メディア／自然と人工環境をとりもつウェアラブル技術

解　説

IP 運用グループの活動と現在の問題，そして研究コミュニティへの提案 …… 石井秀雄
企業をコミュニケーションから評価する …… 中村英史　他
自動車における情報通信技術の流れ（前編） …… 大江準三

連　載　Web サービス／プログラム・プロムナード
コラム　アメリカ IT まわりの話題／インターネット生活向上委員会／情報技術と教育／ 20 世紀の名著名論／日本の IT 事情

会員募集中!!

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，
あなたのお役に立ちます．

詳しくはWebサイト http://www.ipsj.or.jp/ をご覧ください

申込／照会先　社団法人　情 報 処 理 学 会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方に

Ⓡ <学術著作権協会依託>
本誌に掲載された著作物を複写したい方は，（社）日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は，図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください．著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は，直接当学会へご連絡ください．
〒 170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
学術著作権協会
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp
Tel (03)3475-5618　Fax (03)3475-5619
ただし，アメリカ合衆国における複写については，右記の In the USA に記載の所へご照会ください．

Notice about Photocopying
In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.
Except in the USA
Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619
In the USA
Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，必要事項をご記入の上，*E-mail:sei@ss-com.co.jp* または *Fax.03-3368-1519* へご請求ください．

「情報処理」　　月号をみて

広告主名	製品名	希望項目※	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望，B 担当者から連絡・訪問希望，C カタログ希望

フリガナ
お名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

勤務先 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 所属部署 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所在地 （〒　　-　　）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

TEL（　　）　　-　　FAX（　　）　　-

ご専門の分野 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発　　行　社団法人 情報処理学会
発行部数　30,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　オフセット用ポジフィルム
原稿寸法　1 頁　　天地 260mm ×左右 180mm
　　1/2 頁　天地 125mm ×左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm ×左右 210mm

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円（税抜 330,000 円）	—	—
表 3	288,750 円（税抜 275,000 円）	—	—
表 4	404,250 円（税抜 385,000 円）	—	—
表 2 対向	315,000 円（税抜 300,000 円）	—	—
表 3 対向	278,250 円（税抜 265,000 円）	199,500 円（税抜 190,000 円）	162,750 円（税抜 155,000 円）
前付 1 頁	262,500 円（税抜 250,000 円）	173,250 円（税抜 165,000 円）	141,750 円（税抜 135,000 円）
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円（税抜 80,000 円）
前付最終	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
目次前	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
差込（A4 判 70,5kg 未満　1 枚）	288,750 円（税抜 275,000 円）		
差込（A4 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	367,500 円（税抜 350,000 円）		

＊上記料金はポジフィルム納入による料金です．
＊版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます．
＊断切広告は上記料金の 10％増です．ただし，表 4 は不可．

お問合せ・お申込みは
広告総代理店
（株）精機通信社　Tel.03-3367-0571
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13
Fax.03-3368-1519　E-mail: sei@ss-com.co.jp